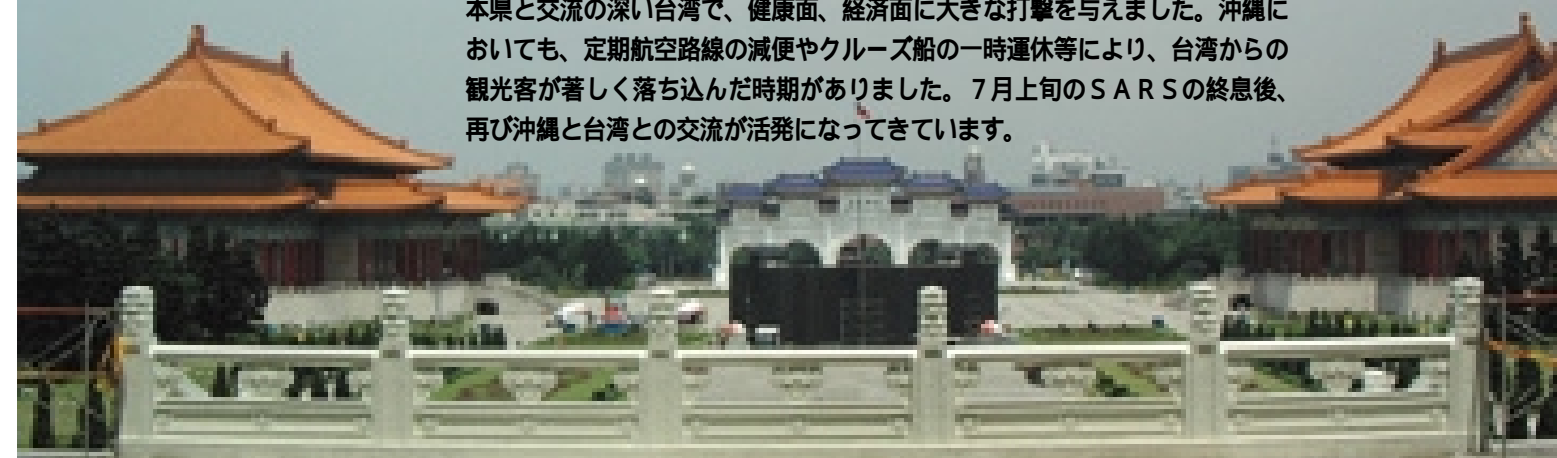


ジャ-ヨウ 加油台湾 がんばれ台湾

沖縄・台湾交流促進について

今年春、主にアジア地域で伝播した重症急性呼吸器症候群（SARS）は、本県と交流の深い台湾で、健康面、経済面に大きな打撃を与えました。沖縄においても、定期航空路線の減便やクルーズ船の一時運休等により、台湾からの観光客が著しく落ち込んだ時期がありました。7月上旬のSARSの終息後、再び沖縄と台湾との交流が活発になってきています。



7月
10日～12日

沖縄県や観光業界で構成した「沖縄県・台湾親善訪問団」が、台湾の行政当局や観光関連業界を訪問し、SARSを制圧した台湾側の努力に対して敬意を表するとともに、今後の交流拡大についての意見交換を行いました。



台湾の航空会社との意見交換



中琉文化協会（台湾）との意見交換



台湾交通部観光局との意見交換

8月
4日～8日

SARSにより影響を受けた台湾の支援のため、行政・観光関連業界等で構成する「台湾支援ツアー」（約70名）を実施し、台湾のマスコミ訪問や「加油台湾（がんばれ台湾）・沖縄観光交流の夕べ」を開催しました。



那覇市や経済界なども台湾支援ツアーを行っており、着実に交流促進に向けた活動が行われています。

今年の12月には台湾で、沖縄出身の歌手による「来来沖縄歌謡祭 in 台北」（仮称）を実施する予定です。

県は、今後も様々な取組により台湾との交流を一層深めていくこととしています。

●お問い合わせ 県観光振興課
TEL.098-866-2764 FAX.098-866-2765



7月
7日

沖縄県、沖縄市等の主催で、台湾を出発したクルーズ船の本県寄港再開を祝い歓迎式を開催しました。



代表者の記念撮影

